

申請年度に☑をしてください。複数可。ただし、令和3年度は令和4年3月加入者等が選択可。

令和3年度(令和4年3月加入者 等選択可)  令和4年度

様式第56号 (第35条関係)

4年 7月18日

## 後期高齢者医療保険料減免申請書

埼玉県後期高齢者医療広域連合長あて

申請者 住所 所沢市星木×丁目×番地の×  
氏名 広城 太郎  
(被保険者・連帯納付義務者)  
電話番号 04-2998-XXXX

埼玉県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例第18条第2項の規定により、下記のとおり保険料の減免を申請します。

記

### 1 被保険者等

フリガナ	コウイキ タロウ
氏名	広城 太郎
住所	所沢市星木×丁目×番地の×
被保険者番号	1234XXXX
世帯主氏名	広城 太郎
世帯主住所	所沢市星木×丁目×番地の×

### 2 保険料の額等

納期(期別)	保険料額	納期(期別)	保険料額
令和4度1期	19,300円	令和4度7期	19,000円
令和4度2期	19,000円	令和4度8期	19,000円
令和4度3期	19,000円		
令和4度4期	19,000円		
令和4度5期	19,000円		
令和4度6期	19,000円		
合計保険料			152,300円

### 3 減免を必要とする理由

世帯主・広城太郎の収入が新型コロナウイルス感染症の影響により10分の3以上減少したため

(例)世帯主・広城太郎の収入が新型コロナウイルス感染症の影響により10分の3以上減少したため

(表)

記入例は、75歳以上の夫婦世帯で、主たる生計維持者が夫  
 夫：給与所得 102 万円（給与収入 170 万円）、年金所得 80 万円（年金収入 190 万円）  
 令和4年度保険料額 152,300 円  
 妻：給与所得なし、年金所得 10 万円（年金収入 120 万円）  
 以上の内容で、夫の令和4年中の収入が 1,150,000 円になった場合です。

世帯の主たる生計維持者に係る新型コロナウイルス感染症の影響による収入状況等報告書

氏名 広域 太郎  
 (減免を受けようとする被保険者)

**世帯の主たる生計維持者（世帯主）**の令和4年中の事業収入等（事業収入、不動産収入、山林収入又は給与収入）のいずれかの収入額が前年より10分の3以上減少する場合（見込みを含む）に、**i、ii**をすべて記入してください。

i. **世帯の主たる生計維持者の収入減少の状況等**

- 世帯の主たる生計維持者の氏名 ( 広域 太郎 )
- 世帯の主たる生計維持者の3/10以上減少が見込まれる事業収入等の状況**

収入の種類	前年(R3.1~12)		対象年(R4.1~12)の見込額等		収入減少割合(※)
	収入金額(ア)	所得金額(イ)	収入金額(ウ)	保険等補てん金額(エ)	
給与	1,700,000 円	1,020,000 円	1,150,000 円	0 円	32.35%
	円	円	円	円	%
	円	円	円	円	%
合計		① 1,020,000 円			

(注1) ①については、収入減少割合が30%を超える所得金額のみを合計してください。  
 (注2) 収入金額は、国や都道府県から支給される各種給付金（特別定額給付金や持続化給付金）を、計算に含めないでください。  
 ※収入減少割合(%)  $[\{1 - (\text{ウ} + \text{エ}) \div \text{ア}\} \times 100]$

- 世帯の主たる生計維持者の前年の全ての合計所得金額(1,000万円以下) ② 1,820,000 円
- 世帯の主たる生計維持者の減少が見込まれる事業収入等に係る所得以外の前年所得の合計額(400万円以下) 800,000 円
- 世帯の主たる生計維持者の事業等の廃止、失業に該当する場合には、○で囲んでください。

事業等の ( 廃止 ・ 失業 )

(注) 事実が確認できる廃業届や雇用保険受給資格者証等を添付してください。

ii. **世帯の主たる生計維持者と世帯に属する被保険者全員の前年の合計所得金額**

区分	氏名	前年の合計所得金額
世帯の主たる生計維持者	<u>広域 太郎</u>	② 1,820,000 円
上記以外の被保険者	<u>広域 花子</u>	100,000 円
上記以外の被保険者		円
前年の合計所得金額の計		③ 1,920,000 円

減免額の計算方法は裏面を参照してください。

(裏)

### 保険料減免額の計算

保険料の減免額は、[1] で算出した対象保険料額に、[2] の前年の合計所得金額の区分に応じた減免割合を乗じて得た額となります。

$$[1] \text{ 対象保険料額} \times [2] \text{ 保険料の減免割合} = \boxed{\text{保険料減免額}}$$

#### 【保険料減免額の計算方法】

##### [1] 対象保険料額

A 令和4年度分保険料であって、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に普通徴収の納期限または特別徴収の年金給付支払日が設定されている保険料の額

《令和4年度》 152,300 円

B 前年の世帯の主たる生計維持者の3/10以上減少が見込まれる事業収入等の所得額(表面①)

1,020,000 円

C 前年中の世帯の主たる生計維持者とその世帯に属する被保険者全員の合計所得金額の計(表面③)

1,920,000 円

$$\text{《令和4年度》 } A \times B \div C = [1] \text{ 対象保険料額} \cdots \underline{80,909}^{\text{37}} \text{ 円} \quad *$$

※ 「対象保険料額」を明確にするために額を計算していますが、実際の減免額の計算では、対象保険料額を計算した段階では、小数点以下の端数がある場合でも端数処理は行いません。このため、この用紙で計算した「保険料減免額」と実際の減免決定額が異なる場合があります。

##### [2] 保険料の減免割合

D 世帯の主たる生計維持者の前年の合計所得金額(表面②)

1,820,000 円

Dの額	減免割合	該当する割合を☑
事業等の廃止や失業	100%	<input type="checkbox"/>
300万円以下	100%	<input checked="" type="checkbox"/>
400万円以下	80%	<input type="checkbox"/>
550万円以下	60%	<input type="checkbox"/>
750万円以下	40%	<input type="checkbox"/>
1,000万円以下	20%	<input type="checkbox"/>

$\boxed{\text{保険料減免額}}$  …… この金額が保険料額から差し引かれます。

$$\text{《令和4年度》 } [1] \text{ 対象保険料額} \times [2] \text{ 減免割合} = \underline{81,000} \text{ 円}$$

(100円未満を切上げる)